

軍神マニュアル Ver1.0

柳森お汀

参考資料

信長の野望Onlineオンラインマニュアル

信長の野望Online寄合所

重要な注意

このマニュアルは、登場人物の会話形式で軍神システムを解説しています。

公式オンラインマニュアルや寄合所の情報を参考に、初心者にも分かりやすいよう再構成したものです。

あくまで個人作成の解説ですので、ゲーム内の仕様と異なる場合があります。万一間違いを見つけた場合はお教えいただければ幸いです。

初めに

軍神システムの概要

「天下布武異録・濃姫編」を進めると、「軍神」の力を借りてPCを強化できるようになります。

数多くの軍神が用意されており、今後も順次追加されていきます。

各地に眠る軍神を見つけ出し、コレクションしましょう。

軍神は成長も可能。軍神を強化すれば、それだけPCも強化されます。

信長の野望Online オンラインマニュアルより抜粋

「オンラインマニュアルに書いてあるけど、これってどういうこと？」

「ざっくりいうと、装備品につく付与とは別に、プレイヤーの能力を強化するシステムのことだよ」

「それはすごいね、さっそくやってみたい！」

「ただ、システムがちょっとややこしいんだ。これからシステムについて、できるだけ簡単に説明してみるから、よく聞いて覚えてね」

八百万の神と勾玉入手方法

軍神システムとは『軍神』を降して、その力を自分のステータスに反映させることです。その軍神の入手方法として、まず『勾玉』を入手することから始めなくてははいけません。

勾玉の入手方法としては下記のようなものがあげられます。

- 敵NPCとの戦闘勝利時
- クエスト達成時の報酬
- アイテム解体時
- 帰参キャンペーンで入手できる「備えの証」と交換
(軍神おみくじ・貳～六を使用すると勾玉が出現します)
- 楽市で購入

勾玉を入手したら、各町の神社にいる『降神祈祷師』のところに行って『降神の儀』を行ってもらいましょう。勾玉に封じられた神々がキャラクターに宿り、ステータス上昇の力になってくれます。

「そうか、まずは勾玉をたくさん集めればいいんだね！」

「まず、なにはなくとも勾玉を入手しないといけないね。そして軍神をたくさんキャラクターの中に宿してみよう」

「ねえ、帰参キャンペーンの報酬でもらえる『入門之勾玉・彩』ってなあに？成長済みの軍神が貰えるって書いてあるよ？もう成長済みなら軍神システムは飛ばしていい？」

「ちょっと待った。その『入門之勾玉・彩』で入手できる軍神は『かなり弱い』んだ。キャラクターはできるだけ強くしたいでしょ？」

「うん」

「そのための成長方法について解説していくから、もうちょっと付き合ってね」

降神した軍神の強化に必要なアイテム（力の源とは？）

軍神の強化には『力の源』というアイテムが必要になります。入手方法については下記のようなものが挙げられます。

力の源の主な入手先

- 特定ダンジョンのクリア報酬
- 特定ダンジョンのポイント交換
- 特定ダンジョンのゾンドロップ
- もののふの日のミニイベント
- ログインボーナス「集印の強化箱・壺」から選択
- 帰参キャンペーンで入手できる「備えの証」と交換
- 楽市で購入
- etc...

力の源を入手したら『降神祈祷師』のところに行って『八百万の神を強化する』を選択しましょう。降ろした神々を選択して強化することができます。

「『力の源』も集めなきゃいけないんだね」

「軍神を強化するにはあればあるだけ集めたほうがいいね」

「でもさ『力の源』がたくさんになると、倉庫がいっぱいになってしまわない？」

「大丈夫『降神祈祷師』に話しかけると『力の源箱・〇』がもらえるよ」

「色は何色でもいいの？」

「うん、好きな色を選んで大丈夫。貰う箱は1個でいいからね」

「わかった！貰ってみるよ」

（箱を使用した際の写真）

「これは便利だね、倉庫がすっきりしたよ。実はログインボーナスとかで結構集めていたんだ」

「それはすごいね。じゃあ、神社に行って実際に強化してみようか」

降神した軍神の強化（実際の効果）

「降神した軍神を例にとって説明しようか。軍神を降ろした状態のステータスを見てみよう」

（降ろしたばかりの伊邪那美のステータス写真）

「強化前の軍神は『お話にならない』っていうのが、正直なところなんだ。これから強化をしなければいけないね」

「うん、まず最大レベルまで強化してみるね」

（レベル50の伊邪那美のステータス写真）

「あれ？ 枠が黄色くなってないよ？ 『入門之勾玉・彩』で手に入る軍神はレベル80だったのに…」

「そうだね、枠を黄色くする（レベル80まで強化する）には『神格成長』っていうことをしないとイケないんだ」

降神した軍神の強化（神格成長）

※神格成長に必要なのは『レベル20以上』まで育てた軍神が2体必要になりますが、ここでは50まで育てることを前提に話を進めます。また、奉納物については後述いたしますので、ここでは簡単に触れるだけとなります。ご了承ください。

「言われた通り軍神を2体強化したよ！」

（レベル50の伊邪那美の写真）

（レベル50の百襲姫の写真）

「じゃあ、神格成長をしてみよう。育てたい軍神はどっちかな？」

「伊邪那美のほうが強そうだね。まず伊邪那美を育てたいよ」

「そうすると「百襲姫」は伊邪那美に力を貸す代わりに消えてしまうんだ」

「そっか、神格成長は軍神が消えてしまうから注意しないとイケないんだね」

「うん、間違えて強化した軍神を消さないようにね」

「あれ、なんか『奉納物』を捧げますか？ って聞かれたよ？」

「そうだね。『奉納物』についてはちょっと後で説明するから、まずはこのままでやってみよう」

※『奉納物』を使用した場合の説明は後述するため、ここでは『神格成長』がこういったものかを把握するにとどめてください。実際にこんなことをしてはいけません！（笑）

（神格成長中の写真）

（神格成長1回後の伊邪那美の写真）

「あれ、レベルが1に戻っちゃったよ。枠の色は変わっているけど、これって失敗なの？」

「大丈夫、軍神のレベル上限が60まで上がってるんだ。それに「百襲姫」の力を借りているから、その分ステータスも上がっているはずだよ？」

「もう一回強化をしないとイケないんだね」

(神格成長1回後のレベル1の伊邪那美の写真)

「レベル60になったよ！」

「じゃあもう一回「百襲姫」を降神してもらおう」

「どうして？」

「レベル上限を70にするために、もう一回「百襲姫」の力を借りるんだ」

「「百襲姫」はレベル50にしないきゃダメ？」

「もちろん！」

(レベル60の伊邪那美の写真)

(レベル50の百襲姫の写真)

「もう一回神格成長をするんだね」

「さあ、やってみよう、軍神の選択を間違えないようにね」

(神格成長中の写真)

(神格成長2回後の伊邪那美の写真)

「レベル1に戻っちゃったけど、枠の色がまた変わったから成功だね」

「じゃあ強化してレベルを70にしてみようか」

「うん」

(レベル70の伊邪那美の写真)

(レベル50の百襲姫の写真)

「だいぶ強くなってきた気がするよ」

「さあ、レベル上限を80にするために、もう一回神格成長をしてみよう」

「「百襲姫」をもう一回降ろしてレベル50にするんだね」

「そうそう、だいぶ覚えてきたね！」

(神格成長の警告画面)

「なにか「淡道の泥雫」が必要だって言われたよ？」

「そうなんだ、神格成長の最終段階には「神具」と呼ばれるアイテムが必要なんだ。伊邪那美の場合は教えてくれた通り「淡道の泥雫」が必要だね」

「神具はどこでもらえるの？」

神具の入手先は主に下記の通りとなります。

- 城下町で入手（1日1個ランダムで入手）
- 楽市で購入

※コスト8の軍神の場合にのみ「八百万の神具・八」で代用可能。

「伊邪那美の場合は、コスト8だから「八百万の神具・八」か「淡道の泥雫」が必要になるね」

「わかった、城下町にあるか見てみて、なかったら購入してみるね」

...。

「「淡道の泥雫」が売ってたので買ってきたよ。これで神格成長すれば最終段階になるんだね」

「うん、じゃあ神格成長をやってみよう！」

(神格成長中の写真)

(神格成長2回後の伊邪那美の写真)

「やった、枠が金色になったよ！」

「これで神格成長はおしまいだ。あとは強化して完成だね！」

(レベル80の伊邪那美の写真)

更なる軍神の強化（神格成長の繰り返し）

「ねえ、今作った軍神「伊邪那美」なんだけど、みんなが装備している軍神に比べて強くないと思うんだ」

「そうだね。でも考えてみて？　今回は「伊邪那美」に力を貸したのは「百襲姫」だったよね。「百襲姫」は強かった？」

「レベル50にしたけどそれだけじゃダメなの？」

「いや「百襲姫」がもしレベル80だったらどうなっていたと思う？」

「えっ...？」

「「百襲姫」がレベル80になるために力を貸したのが「木花咲耶姫」だったとしたら？」

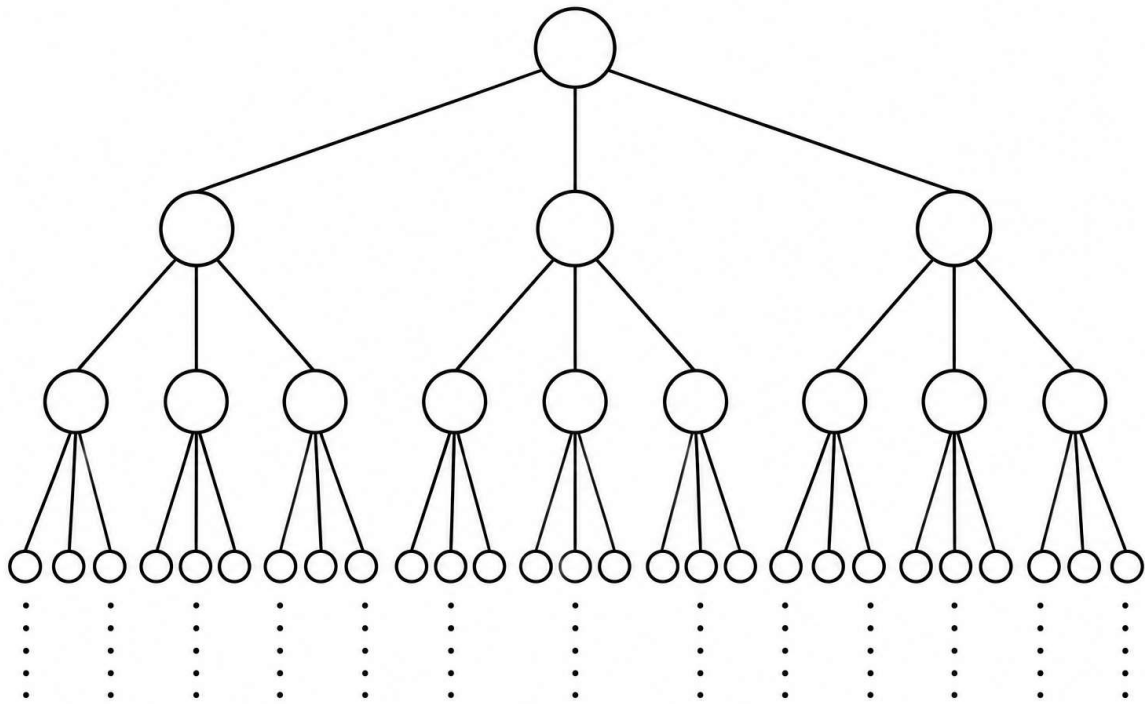
「ええっ？」

「その「木花咲耶姫」がレベル80になるために...」

「待って待って、どういうことなの？」

「こういうことになるね」

(三分岐ツリー)



「ええっ「木花咲耶姫」が27体も必要になるの？」

「いやいや、そんなもんじゃないよ。その下にも続きがあるんだ」

「その下になると81体も軍神が必要になってくるよ...いくら「力の源」があっても足りないよ...」

「昔はこういう作り方で軍神を作っていたんだ。基礎として覚えておいてね」

「えっ...いまはこういう作り方はしてないの？」

「うん、今の作り方は最後に教えてあげるね。まずは基本として「こういうことがあった」と覚えておくだけで充分さ」

「ありがとう...もう少し頑張れる気がするよ」

※軍神の考え方の基本として図を提示しましたが、今この作り方をしている人はほとんどいないと思います。あくまで参考までにご確認ください。